

ひらめき☆ときめきサイエンス —ようこそ大学の研究室へ— KAKENHI

独立行政法人日本学術振興会 平成 19 年度研究成果の社会還元・普及事業

テーマとなる科学研究費補助金

若手研究 (B) 流産・死産体験が対人関係に与える影響とトラウマ克服の対人過程に関する探索的研究

若手研究 (B) 流産・死産などの「誕生死」体験者の心のケアに必要な対人コミュニケーション・スキル

# 赤ちゃんが — 悲しみを思いやりに変える社会心理学 — 残してくれた“仲間”

「誕生死」という言葉を耳にしたことはありますか。

赤ちゃんは生まれるものであって死ぬものではないと思うでしょう。

実は、流産や死産で赤ちゃんが死んでしまう確率は意外と高いのです。

無事に生まれても、病気や原因の分からない症状で亡くなってしまう赤ちゃんもいます。

家族は呆然とします。医療の専門家たちも辛い気持ちになります。

思いも寄らぬ出来事で悲しい思いをしている人たちは、

どのようにして支え合っているのでしょうか。

医療の専門家たちは、辛い体験をどのように仕事に生かしているのでしょうか。

人と人の気持ちをつなぐ学問である社会心理学の視点から考えてみましょう。

2007年 **11月23日** 祝日

12:50-16:20

**高知大学** 【朝倉キャンパス】

人文学部棟 5階 第1会議室

〒780-8520 高知市曙町2丁目5番1号

■JR「朝倉駅」下車徒歩3分。土佐電鉄「朝倉（高知大学）」下車徒歩1分。

講師：**増田 匡裕** 高知大学人文学部・准教授

ゲスト：山本さくら（ピアサポートグループメンバー）

岡永真由美（神戸市看護大学看護学部）

【参加費】無料

【主な募集対象】高校生 40名

（一般の方も歓迎いたしますので、ご遠慮なくお問い合わせください）

【申込締切日】11月16日 [金]（以降はお問い合わせください）

お問い合わせ先・参加申込先

高知大学 国際・地域連携センター 生涯学習部門

担当：小林 克巳

TEL：088-844-8454

FAX：088-844-8556

E-mail：[jm-kkatsumi@kochi-u.ac.jp](mailto:jm-kkatsumi@kochi-u.ac.jp)

■ウェブからも申し込みができます

[www.jsps.go.jp/hirameki/ht3000/ht3097\\_kouchi.html](http://www.jsps.go.jp/hirameki/ht3000/ht3097_kouchi.html)